

改訂：2026年2月5日

# SMA の注意事項と制約事項

## 注意事項

SMA 機能については、次の注意事項に従ってください。

- SMA はデフォルトで有効になっています。SMAを無効にすることはできません。
- SMA では、最大 5 つのポリシー（1 つのデフォルトと 4 つのユーザー定義）がサポートされます。
- SMA プロセスは、コアスイッチと NPV スイッチの両方でサポートされます。

## 制約事項と制限事項

SMA の機能には次の既知の制約事項と制限事項があります。

- 最大 13K エントリまで蓄積される履歴を保存するための 1MB のメモリ
- 予期しないパターンについては、ポートカウンタとプロトコルカウンタだけが監視されます。
- Tx-OverUtilization カウンタは、MDS 9700 シリーズの MDS 24/10 ポート SAN 拡張モジュールではサポートされていません。
- FPIN および DIRL ポートガードアクションは NPV ではサポートされていません
- 以下の PMON カウンタはサポートされていません。
  - ポートからの ASIC エラー パケット
  - xbar への SIC エラー パケット
  - xbar からの ASIC エラー パケット
- PMON カウンタ TX-Slowport-Oper-Delay はしきい値タイプ絶対値で監視されますが、SMA ではカウンタしきい値タイプは差分値になります。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。